

## 現在の神戸税関本関庁舎

噴水がある中庭は、旧本館庁舎の通関部門のフロアーがあったところであり、天井を撤去し中庭としたもの。さらに中庭に設置されている石製のベンチは、同フロアーの当時受付カウンターの天板を使用している。また、噴水の中央部分は、二代目庁舎の外溝に用いられていた敷石を使用して造られている。



時計塔及び噴水



中庭



アトリウム



旧館エントランスホール



中庭に立っている 9 本の柱は、旧館の天井を支えていた支柱をそのままの形で保存したもの。



中庭と新館



中庭と旧館（中庭の中央に噴水）



旧館 2 階、二代目本館庁舎の税関長室は貴賓室として使用されていた。現在は旧税関長室として保存されている。



3 層吹き抜けの旧館エントランスホール



時計塔と税関旗。直径 180cm の時計が 3 面に設置されている。



旧館 4 階、改修工事の際発見された壁画。アメリカ兵によって描かれたものと推測される。



平 17.3 に温暖化防止に向けた環境負荷低減のため、新館 9 階にある屋上の緑化を行った。



新館最上階（10 階）の特別会議室





新館 1 階アトリウム部分、オープンカスタムスなど行事にも使用されている。



アトリウムに面した事務室前の廊下



エレベーターエントランス



夕刻の中庭（旧館）



夕刻の神戸税関本関庁舎



夕刻の中庭（新館）